

鳥取県

シニア災害ボランティア シンポジウム開催報告

平成28年2月9日(火)、倉吉未来中心
セミナールームにて鳥取県と当協会主催によ
る「シニア災害ボランティアシンポジウム」
が開催されました。

冒頭に主催者を代表して城平守朗鳥取県
危機管理局長と当協会の廣澤事務局長が挨拶し、続いて四国大学短期大学部人間健康
科の日開野博教授による講演と各パネリスト
によるパネルディスカッションが行われました。

講演

13:10～14:10

阪神淡路大震災・東日本大震災
現地ボランティア支援から学ぶ

四国大学短期大学部人間健康科

教授 日開野博氏

講演では特に災害時要配慮者(高齢者や障がい者)への支援プログラムの策定や、地域の『絆』を作り直すことの重要性についてお話しいただきました。

パネルディスカッション

14:20～16:00

シニアが支える地域の防災
～地域で生きるセカンドライフ～

【コーディネーター】

四国大学短期大学部人間健康科

教授 日開野博氏

【パネリスト】

災害ボランティア経験者

湯口義幸氏

日本赤十字社鳥取県支部

職員 船越久登氏

日野ボランティア・ネットワーク事務局

局長 松田暢子氏

徳島県社会福祉協議会総務企画課

課長 伊原俊子氏

パネルディスカッションでは実際の活動現場におけるシニアの役割や、安心・安全な地域づくりに向けた地域コミュニケーションでの取り組み等について各方面から貴重なご意見をいただきました。

今後のボランティアの在り方などを考えるうえで大変参考となる講演となりました。



日開野博氏

四国大学短期大学部人間健康科 教授

阪神淡路大震災四国四県社協支援により、第一陣の淡路島ボランティアベースキャンプを立ち上げ現在も被災地の高齢者と学生との交流活動を継続中。また東日本大震災支援では、2011年から毎年学生たちとともに仮設住宅での交流活動や被災者復興支援活動を行っている。現在、徳島県社会福祉協議会総合企画委員会副委員長、とくしまボランティア推進センター委員長なども務める。

